

先進地紹介

中心拠点施設整備とまちづくり

～長野県小諸市～

常陸太田市建設部都市計画課 係長 久保木 尚 人

■はじめに

平成28年10月13日～14日の2日間、茨城県都市計画協会の先進地視察に参加しました。ここでは、第10回まち交大賞創意工夫大賞を受賞した長野県小諸市の『市庁舎敷地一帯での都市再生整備計画事業』と『新地域公共交通』を併せたコンパクトシティ小諸について紹介します。

小諸市が進めている都市再生整備計画事業は、立地適正化計画を前提にしたもので、平成29年度末の完了を目指しているとのこと。

■小諸市の概要と都市計画について

小諸市は、長野県の東部に位置し、南に佐久市、北は群馬県嬭恋村に接した人口4万3千人の市で、東京からの距離は直線にして約150kmになります。

中心市街地は、小諸城（現懐古園）が築かれ中山道、甲州街道などの交わる要所として商業を中心に城下町・宿場町として繁栄し、いまなお歴史的財産が残るまちです。市の総面積9,855ha、都市計画区域は小諸市域の北側一部を除く区域に設定され、市域の約80%に当たる7,899haとなっており、うち682haは用途地域であります。



懐古園

■市庁舎敷地一帯での再構築までの経過

「特急あさま」が停車する小諸駅は、長野県東部の拠点駅でありましたが、平成9年に長野新幹線の開通により信越本線が第三セクターに転換したことをはじめ、車社会の進展、商業施設の郊外移転、空き店舗増加によるDID人口の減少により、中心市街地の空洞化が進み、かつての賑わいを失いつつありました。市庁舎等も老朽化が著しく、エレベーターもなくバリアフリーに対応していない建物であるため、市庁舎整備も喫緊の課題でもありました。

また、小諸厚生総合病院は、浅間南麓の中核医療施設として欠くことができない病院でありましたが、医師不足、建物の老朽化、病院の統廃合や救急医療機能の縮小などの理由により存続が懸念され、小諸市から病院が無くなるという危機感から厚生病院の再構築も重要な課題

であり、街の活性化と地域医療を守るために、市は「市役所と小諸厚生総合病院の交換移転」、「病院の再構築に伴う費用の負担」を計画し、都市機能を集約する『街再生計画案』を打ち出しました。

■小諸市のまちづくりと都市機能集約について

小諸駅を中心とした中心市街地を「中心拠点区域」に位置づけ、老朽化した市庁舎および公共建築物の更新を契機として、市庁舎敷地の一部を小諸厚生総合病院の再構築移転場所として提供し、併せて地下を含めた高層化された集約駐車場等の整備を行い、中心市街地にコンパクトシティ実現のための都市機能を集約をしていました。



しなの鉄道『小諸駅』

実際に歩いてみると、市庁舎と合築した図書館と地域交流センターを中心に数百メートル以内のところに病院・郵便局・商工会などが限られた敷地内に密度を高く、シンプル且つ効率的に作られていました。



都市機能集約前



都市機能集約後

合築した地域交流センターは、大きな催事には適してはいませんが、200人程収容できる大ホールと楽屋を兼ねた会議室などが必要最小限に造られ当日に会議室が空いていれば市の会議や打合せとして使えるため稼働率はとても高いとのこと。図書館についても集約の効果

により、視察した平日の午前中にも関わらずたくさんの方に利用されていました。

集約の効果は、昼間人口が集約地区に増えたため、周辺の商店街にも波及し、活気ある店舗が数多く見受けられ、集約の成果と庁舎内に食堂を造らないなど、常に稼働率を考えた結果の副産物と考えます。



市役所新庁舎



新病院（建設中）



集約駐車場（建設中）



地域交流センター



開館10ヶ月で地域交流センター（図書館・コミュニティー施設）の利用者が20万人超え（H27.10開館）



■新地域公共交通について

地域公共交通、予約制相乗りタクシー『こもろ愛のりくん』のコールセンターは、駅前にある空き店舗を活用した待合室が一体となった施設で、そこを中心に5地区に分け地区ごとに色分けされた乗合タクシーが運行しています。電話が鳴り続くなか、モニターには予約状況が表示され、コールセンター前には次々と色鮮やかなタクシーが往来し常時5～6人が乗車していました。初めは、登録するのも面倒で、利用者も少なくて、定着するまで時間がかかりましたが、気軽に使ってもらうために、戸別訪問や町内会の集まりなどで根気強く説明をしたそうです。このように工夫次第で利用率が高くなるということが大事だと痛感しました。

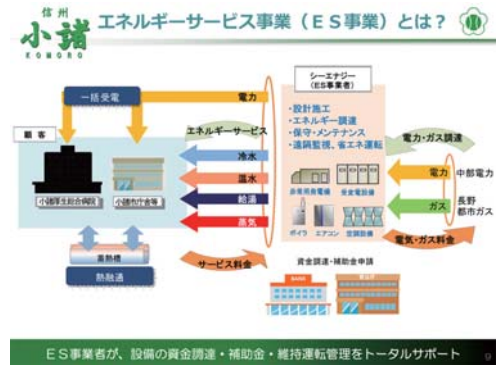


こもろ愛のりくん

■その他

・ES事業

新市庁舎と新病院間のエネルギーの効率的な運用調整及び保守管理のため共同でエネルギー供給サービス（ES事業）を導入



相生通り（無電柱化）



相生公園
（市民が植栽の維持管理）

・停車場ガーデン

駅前活性化に向け、市民がつくり楽しむ公園づくりを進めています。



■おわりに

小諸市の立地適正化計画の策定方針では、この中心拠点を都市機能誘導区域の一部と定めております。また、まちづくりのテーマは「笑顔と健康のまちづくり」とのことでした。

当市においても現在、立地適正化計画策定の準備を進めており、人口規模的にも近い小諸市の様々な取り組みは非常に参考になりました。

説明をいただいた小諸市の職員の方からの『この事業は、まちづくりについて強い信念をもち、どんなまちにしたいのか、市全体で考えなければならない』という言葉を念頭に置きながら、今後の事業を進めていきたいと思っております。